

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	第1回 砥部町地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会
2 開催日時	令和7年8月27日（水） 18:00～18:40
3 開催場所	砥部町役場 大会議室
4 議題等	議題 1 地域包括支援センターの運営状況について 2 地域密着型サービスの状況について
5 出席者名	【出席委員】 田中昭子・中城有喜・楮本大輔・篠森華奈 安岡英哉・成瀬亮太・大野啓子・佐川正子 荒谷英彦 【欠席委員】 西岡真由美 出席委員9名 欠席委員1名 【事務局】 白形大伸（課長） 中山晃志（課長補佐） 西山三保（課長補佐） 眞部ゆかり（専門員兼地域包括支援センター係長） 福岡健一（介護保険係長）
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の別	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町介護福祉課 電話 962-7255

第1回 砥部町地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会会議録

発言者	発言内容
事務局	(開会あいさつ)
事務局	(介護福祉課長あいさつ)
事務局	会長・副会長の選出ですが、今回、運営協議会単独の会としましては、初めての開催となります。運営協議会規則により、「協議会に会長及び副会長を置き、会長は、委員の互選により定める。」となっておりますので、会長と副会長を選出させていただきたいのですが、この会は、介護保険事業計画等策定委員会と同じメンバーで開催しております。できましたら、会長、副会長も策定委員会と同じ方をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。ご賛同いただける方は、拍手をお願いいたします。 (参加者全員の拍手を確認) ありがとうございます。それでは、会長に田中委員、副会長に西岡委員をお願いしたいと思います。副会長の西岡委員につきましては、本日ご欠席ですが、事前に確認のうえ了承いただいております。よろしくお願いいたします。
事務局	議事録署名人選出について、今回は安岡英哉委員にお願いします。
事務局	運営協議会規則により、「協議会の会議は会長が招集し、会長がその議長になる。」となっておりますので、田中会長に議事進行をお願いします。
議長	議題（１）の地域包括支援センターの運営状況についての説明を事務局からお願いします。
事務局	(資料１－１、１－２、１－３、１－４により地域包括支援センターの運営状況を説明する。)
議長	ただ今の説明の内容でご意見やご質問はありませんでしょうか。
委員	介護予防ケアマネジメントプラン作成数について、過去３年間で減少している理由を教えてください。
事務局	介護予防ケアマネジメントプランは、訪問型のヘルパーサービスと通所型のデイサービスを利用する方のケアプランになりますので、ヘルパーやデイサービスのみを利用する方が減少しているためと思われます。
委員	サービスを使わずに済むということは、状態がよくなったということなのか、重度化して要介護認定に移行したということなのか、その辺りのところはどうか。
議長	もしかすると、サービスを使わなくても、近隣住民同士の支え合いなどのインフォーマルな支え合いで対処できているということもあるのではないかと思います。いかがですか。
事務局	そういった支え合いが充実して来ているということもあると思っています。また、予防給付でその他のサービスを使っている方については、介護

	予防支援計画を作成していますが、こちらは若干増えて来ています。十分な分析はできていませんが、両方のプランを合わせるとサービス利用者はさほど減少はしていない状況です。
委員	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、フレイル該当者の困りごとや課題、地域との繋がり状況について状況を教えてください。
事務局	孤立しているケースが多く、個別支援に留まっている状況にあります。地域に繋がりたいと思っても、なかなか参加してもらえない現状もあり難しさを感じています。民生委員と連携をしながら支援を行っています。
委員	全国的に軽度者が重度化する割合が増えている傾向があり、いかに軽度者をフォローアップしていくかが課題になっています。そういった方は、洗濯、買い物、料理などの家事動作が重要で、それらの周辺動作の課題が多くなっています。コロナ禍の影響により地域のコミュニティが低下して、閉じこもりや認知面の低下者も増えています。そのような方に事業を紹介していますが、介護予防という名称がネガティブなイメージを与え、私には必要ないと参加を拒む方も多くいます。入口として、もっと敷居が低く、楽しく通える場、カッコいいイメージの教室など、デザインやイメージ性が重要だと思います。
議長	ひとり暮らしや転入者など、地域に馴染めない高齢者が増えている中で、個別の課題を拾い上げ、地域で支え合う体制づくりを行うことが地域包括支援センターの役割にあるかと思います。委員の言われるように、敷居が低い通いの場、特に男性も楽しく参加できるような仕組みがあるといいと思います。他に質問はございませんでしょうか。
委員	介護支援専門員等研修会での避難行動個別支援計画の話題についてですが、重度者や要医療ケアの高齢者の避難には地域コミュニティの力が不可欠だと思います。昨今の地震や水害などを受け、災害に関する関心が高まっている現状を活用して、避難訓練をきっかけに有事に備えて平時からの地域との繋がりを強化すべきと考えています。実際に避難訓練の状況はいかがですか。
事務局	八瀬地区では集会所に集まり訓練を通じてみんなでアクションプランを立てています。地域差はありますが、八瀬地区をモデルに他の地域も展開できればと思っています。
委員	有事に備えて普段から地域に住む人たちのことを知る活動もコミュニティの強化に繋がると思います。
議長	議題（２）の地域密着型サービスの状況についての説明を事務局からお願いします。
事務局	（資料２－１、２－２より地域密着型サービスの利用状況を説明する。）
議長	ただいま説明があった内容で質問やご意見などはございませんでしょうか。 新旧対照表の説明について、通い９名、宿泊６名とありますが、併せて

	登録定員にならなくても大丈夫ということですか。
事務局	通いは登録定員の2分の1から12名まで、宿泊は3分の1から9名までと決められています。併せて登録定員にならなくても大丈夫です。
議長	それ以外に何かご質問はございませんか。それでは本日の議事はすべて終了しました。事務局に進行をお返しします。
事務局	ありがとうございました。それでは、最後に委員の皆さまからこの場で協議したいことやお知らせ等はございませんでしょうか。
委員（全員）	特になし
事務局	（閉会のあいさつ）